

## 令和6年度 運営方針・活動の重点・研究主題

現代は将来の予測が困難な時代であり、その特徴である変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の頭文字をとって「VUCA」の時代とも言われている。新たな感染症の感染拡大の影響及び国際情勢の不安定化は、正に予測困難な時代を象徴しており、一人ひとりが豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、教育の果たす役割はますます大きくなっている。このような中、令和3年度から全面実施となった学習指導要領では、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む社会に開かれた教育課程の実現、カリキュラム・マネジメントの確立が求められている。多様化、複雑化している子どもが抱える困難に対応し、子どもたちの命や安全を守るためにも、私たち中学校長は、経営者として、常に今と未来の社会の有り様を見据え、確かな理念のもとに学校経営方針を立て、力強く学校経営を進めていく必要がある。また、新たな香川県教育基本計画の基本理念である『郷土を愛し、夢と志を持ち、自ら学び歩み続ける人づくり』の実現に向け、子どもたち一人ひとりの学びと成長を支えていかなければならない。

このような認識のもと香川県中学校長会は、次の運営方針並びに活動の重点等に基づき、中学校教育の一層の充実・発展を期し、本会の運営にあたる。

### 1 運営方針

- (1) 本会の組織と機能を生かし、会則に定める目的の達成に努める。
- (2) 校長としての学校経営力の向上を図り、地域の実態に応じた魅力ある学校づくりを推進し、県民の信託に応える中学校教育の創造に努める。
- (3) 県教育委員会等関係機関との連携を深め、国の諸改革の動向を踏まえ、適切な対応に努める。

### 2 活動の重点

- (1) 本会の組織と機能を充実させ、活動の活性化を図る。
  - ① 各郡市長長会との連携強化と、一体となった活動の推進
  - ② 教育改革をはじめとする諸改革に関する適切かつ迅速な対応と情報の発信
  - ③ 各専門部の活動の充実及び、その内容の見直しと改善
  - ④ 県教育委員会、小学校長会、高等学校長協会との連携強化
  - ⑤ 第76回(令和7年度)全日本中学校長研究協議会香川大会の基本計画の策定と準備
- (2) 確かな学力の定着、豊かな心と健やかな体を育むための「カリキュラム・マネジメント」に努める。
  - ① 学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえた「社会に開かれた教育課程」及び「主体的・対話的で深い学び」の実現と「カリキュラム・マネジメント」の確立
  - ② GIGAスクール構想により、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、一人ひとりに個別最適な学びや協働的な学びを実現するなど「令和の日本型学校教育」の実現
  - ③ 豊かな心と健やかな体を育てる道徳教育、特別活動、部活動、人権・同和教育、健康教育の充実
- (3) 学校の自主性・自立性の確立に努め、家庭や地域社会に信頼される学校づくりを進める。
  - ① 教職員の意識改革と若年教員の資質・能力の向上
  - ② 学校と家庭・地域社会との相互連携・協力を強化し、「社会に開かれた教育課程」を編成
  - ③ 学校評価の創意・工夫による学校の組織的・継続的な改善
  - ④ 教育委員会との適切なパートナーシップに基づく双方向の関係の強化
- (4) 教育諸条件の整備・充実に努める。
  - ① 教育諸条件の整備・充実にめざす予算・人事要望の推進
  - ② 高等学校入学者選抜制度等の改善への対応と進路指導の充実
  - ③ 「学校における働き方改革」を踏まえた学校組織マネジメントの推進と部活動の地域移行

### 3 香川県小・中学校長研修会における研究主題

#### (1) 小・中学校共通研究主題

「郷土を愛し夢と志をもって自ら学び続け、豊かな未来社会をともに創造する子どもを育てる小・中学校教育」

#### (2) 中学校の研究主題

「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」